

福知山市商工会 企業業況調査

令和3年10月調査結果(令和3年7月～9月分 調査対象 78件) (令和3年11月 10日公表)

■景況感

	今回 調査数	現状		先行3ヶ月		先行1年		
		今回	前回	今回	前回	今回	前回	
全体	78	27.6	27.2	33.7	31.6	37.2	35.6	
地域別	三和	17	36.8	27.9	39.7	32.4	35.3	36.8
	夜久野	26	24.0	25.9	29.8	32.4	36.5	35.2
	大江	35	25.7	27.8	33.6	30.6	38.6	35.4
業種別	製造業	23	34.8	32.3	42.4	35.4	46.7	43.8
	建設業	20	32.5	35.7	33.8	35.7	32.5	33.3
	卸小売業	10	7.5	15.9	15.0	22.7	37.5	29.6
	サービス業	25	25.0	19.8	33.0	28.1	32.0	32.3

景況感DIの算出方法

回答構成比(%)に、以下の点数を乗じてDIを算出
 良い+1.0、やや良い+0.75、どちらともいえない+0.5、やや悪い+0.25、悪い+0.0
 (すべてが「どちらともいえない」と回答した場合、DIは「50.0」)

現状は、景況感DIは27.6と前回調査より0.4ポイントのプラスとなった。地域別では、三和が9.9ポイントプラス、夜久野が1.9ポイント、大江が2.1ポイントのマイナスになっている。業種別では製造業は2.5ポイントのプラス、建設業は3.2ポイントマイナス、卸小売業で8.4ポイントマイナス、サービス業が5.2ポイントのプラスとなっている。前回調査では全地域、全業種マイナスだったが、今回調査では地域では三和地域、業種では製造業とサービス業がプラスと改善の傾向が出始めている。

先行調査では、先行3ヶ月が2.1ポイントのプラス、先行1年が1.6ポイントのプラスと前回同様改善の兆しがみられる。業種別に見ると、先行3ヶ月では製造業、建設業、サービス業ではプラス、卸小売業はマイナス。先行1年では製造業、卸小売業はプラス、建設業、サービス業はマイナスではあるが微減となっている。先行き調査ではワクチン接種が進み、緊急事態宣言等が全面的に解除された10月以降への期待から見通しは上向いている。

■経営動向

○製造業・建設業

	今期		前年同期比		前期比	
	今回	前回	今回	前回	今回	前回
引合	/		-25.6	-20.0	-23.3	-24.4
売上			-32.6	-24.4	-30.2	-28.9
仕入単価			-51.2		-44.2	
採算	-4.7	-2.2	-23.3	-22.2	-30.2	-26.7
資金繰り	-18.6	-17.8	/		/	
業況	-37.2	-35.6				

経営動向DIの算出方法

「良い」とみる割合(%)から、「悪い」とみる割合(%)を引いてDIを算出

(「良い」と「悪い」の割合が同じ場合、DIは「0」)

(製造業・建設業)グループと、(卸小売業・サービス業)グループに分類して集計をしている。

○卸小売業・サービス業

	今期		前年同期比		前期比	
	今回	前回	今回	前回	今回	前回
売上	/		-54.2	-54.3	-42.9	-48.6
仕入単価			-45.7		-48.6	
客数			-48.6	-57.1	-40.0	-51.4
客単価			-31.4	-40.0	-28.6	-40.0
採算	-40.0	-34.3	/		/	
資金繰り	-40.0	-45.7				
業況	-62.9	-68.6				

★今期の経営動向

製造業・建設業においては、採算が2.5ポイント、資金繰りが0.8ポイント、業況が1.6ポイントのマイナスとなっている。

卸小売業・サービス業においては、採算が5.7ポイントマイナス、資金繰りが5.7ポイント、業況が5.7ポイントのプラスとなっている。

★前年同期比、前期比

製造業・建設業においては、前年同期比では、引合5.6ポイント、売上が8.2ポイント、採算が1.1ポイントのマイナス。前期比においては、引合が1.1ポイントプラス、採算が1.3ポイント、売上は3.3ポイントのマイナスとなっている。

卸小売業・サービス業については、前年同期比では、引合、売上、採算のすべてで改善している。

■今期直面している経営上の問題点（業種別上位5項目 項目の後の()は前回順位(同順位あり)、業種の後の数字は選択された数)

	製造業(54)	建設業(49)	卸小売業(19)	サービス業(60)
1位	設備の老朽化(1) 16.7%	従業員の確保難(3) 22.4%	需要の停滞(1) 26.3%	仕入単価の上昇(4) 18.3%
2位	従業員の確保難(4) 14.8%	仕入単価の上昇(1) 20.4%	競争の激化(5) 15.8%	需要の停滞(2) 15.0%
3位	仕入単価の上昇(2) 13.0%	需要の停滞(-) 16.3%	消費者ニーズの変化(3) 10.5%	設備の老朽化(5) 15.0%
4位	人件費の増加(-) 11.1%	設備の老朽化(5) 8.2%	仕入単価上昇(2) 10.5%	経費の増加(3) 11.7%
5位	需要の停滞(5) 11.1%	経費の増加(-) 6.1%	従業員の確保難(-) 10.5%	消費者ニーズの変化(1) 10.0%

今回の調査では前回同様仕入単価の上昇が全業種上位となっている。ウッドショック、資材不足だけでなく、原油高騰等の影響もあり厳しい状況が続いている。また、製造業、建設業、卸小売業では従業員の確保難が問題となっており、人材確保が難しくなる中における生産性の向上の取組が必要となってきている。

◆どのようなセミナーに参加したいですか？

NO	回答	比率
1. 販売マーケティング	9	11.5%
2. 経理財務	6	7.7%
3. 税務管理	4	5.1%
4. 労務人材雇用管理	8	10.3%
5. 人材育成	6	7.7%
6. 海外展開	0	0.0%
7. DX・IT活用	8	10.3%
8. 事業計画	4	5.1%
9. 生産管理	3	3.8%
10. 省エネ・コストダウン	5	6.4%
11. 知的財産権	0	0.0%
12. 接客マナー	6	7.7%
13. 商品・製品開発	4	5.1%
14. 店舗診断設計	3	3.8%
15. 事業承継	3	3.8%
16. 農商工連携	4	5.1%
17. 地域資源活用	2	2.6%
18. メンタルヘルス	3	3.8%
計	78	100.0%

◆事業計画策定

NO	回答	比率
1.ある	22	29%
2.ない	55	71%
計	77	100%

策定して無い理由

NO	回答	比率
1. 必要性を感じない	20	25.6%
2. 時間がない	16	20.5%
3. 人員ノウハウがない	10	12.8%
4. 相談できる人いない	3	3.8%
計	49	62.8%

策定の目的

NO	回答	比率
1. 融資	7	25.0%
2. 補助金の申請	9	32.1%
3. 事業承継	2	7.1%
4. 方向性の共有	8	28.6%
5. 思考の整理	2	7.1%
計	28	100.0%

参加したいセミナーについては販売マーケティング9件、労務人材雇用管理8件、DX・IT活用8件と多い。従業員の確保難を問題点とされていた事業所の半数近くが労務人材雇用管理、人材育成、DX・IT活用を選ばれている。

過去に事業計画を策定された事業所は22件、策定されていない事業所は55件。策定しない理由は必要性を感じないが20件で多く次いで時間がないが16件。策定の目的は補助金の申請が9件、方向性の共有が8件と多い。

この調査は、福知山市商工会会員事業所を対象として、景気判断や経営動向等を明らかにし、売上向上を目指した事業計画の策定、販路開拓や商品開発、事業承継、経営改善等経営力向上を推進する基礎資料として活用することを目的に実施しています。

次回は令和3年10月～12月の状況について、令和4年1月に調査する予定です。商工会の支援員が調査にお伺いしますので、調査対象の事業所様には引き続きご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。